



真龍小便い

【学校の教育目標】
☆心と体をきたえる子
☆美しい心をもつ子
☆考えて行動する子
☆生き生きと学ぶ子

No.7 令和4年8月31日発行

「勉強することはなぜ大切なのか？」

校長 斉藤 直彦

「ストレス社会」という言葉は、今となっては聞きなれてしまうほど、現代社会はストレスが多いと言われています。でも、果たして本当にそうなのでしょうか？

ストレスは、人間同士の関係が始まった時からあるはずなので、今の社会が特別多いというわけではないと思います。ですから、私は、「ストレスとうまく付き合えない社会」ではないかなあ、と考えます。

生きていれば、人間関係が存在し、ストレスも必ずあります。ストレス自体を問題にしてばかりいると、いやなことを探す生き方になってしまいます。例えば、「コロナ禍のせいで、楽しみが何にもなくなった！」などのように、コロナ禍を問題にしてしまうと、「あれもできない、これもできない。」などと、いやなことばかりに目がいてしまいます。

どうせ生きるなら、いやなことばかりに目を向けるより、楽しいことを見つける生き方をしたほうが良いと皆さんも思うのではないのでしょうか。

楽しいことを見つける生き方をするためには、ストレスとうまく付き合う必要があります。「そうは言っても・・・」と考えた時点で、いやなことを探す生き方に、片方の足を踏み入れています。

ストレスとうまく付き合うには、「選択肢の多い生き方」が必要です。選択肢が多く、自己決定できる場面を作ると、ストレス耐性が高まり、未来像も前向きになります。前向きな考え方ができると、楽しいことを見つける生き方ができます。

では、選択肢の多い生き方をするには、どうしたらよいのでしょうか？

それは、いろいろな考え方ができるようになることです。「考えすぎるとストレスがたまる。」とか「くよくよ考えるな！」などという言葉がありますが、これらの言葉は、「いろいろ考えた末に」使われる言葉であって、考えてもいない人に向けては使いません。

ですから、いろいろな考え方ができるようになるには、様々な方向や、角度から考える場面を作ることが大切です。その最適な場面が、子どもにとっては、「勉強」することです。

授業や家庭学習などで勉強し、たくさん考えることによって、いくつかの選択肢の中から自己決定する場面が生まれます。そういう経験を積むことによって、「選択肢の多い生き方」につながり、「ストレス耐性の高まり」にもつながり、「楽しいことを見つける生き方」につながっていきます。

だから、「勉強することは大切なんだなあ」と、最近になってわかってきました。
(笑)

日	曜	9月の主な行事
1	木	社会見学(3年)
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	講話朝会 参観日(3～6年)
6	火	短縮日課
7	水	短縮日課 放課後学習
8	木	参観日(1～2年) 配本日 中休み読み聞かせ(2年)
9	金	1年社会見学(小師馬商) SC来校
10	土	
11	日	
12	月	児童朝会③ 組踊体験(5・6年)
13	火	短縮日課 社会見学(6年)
14	水	短縮日課 委員会⑦
15	木	北方領土学習(4年) PTA役員会 人権教室(3・5年)
16	金	前期終業式(朝会) 避難訓練
17	土	
18	日	
19	月	敬老の日
20	火	通常日課 後期始業式(朝会) マラソンチャレンジ(～10月7日)
21	水	短縮日課 宿泊研修
22	木	宿泊研修 交通安全指導日
23	金	秋分の日
24	土	
25	日	
26	月	児童朝会④ 学習発表会特別時間 割開始 特別支援6年中学校訪問
27	火	短縮日課 クラブ③
28	水	短縮日課
29	木	
30	金	就学児スクリーニング検査

「ながら見守り」のお願い

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

真龍中体験入学

8月23日(火)に6年生が真龍中学校を訪問し、真龍中学校の体験入学を行いました。

まず、中学校生活についてガイダンスを受けました。1校時が50分になることや、人の話を聞く際のルールやマナーについて説明を受けました。その後、各自自由に授業の様子を見学したり、数学の体験授業を経験したりすることで、小学校と中学校の授業の違いを実感していました。

子ども達にとって、緊張感のある時間となり、まずは中学校がどのようなところか、体得していたようです。また、今後も体験入学は実施していく予定となっています。

外国語乗り入れ授業

8月24日(水)に、真龍中学校の大畠先生をお迎えして、外国語の乗り入れ授業を行いました。この日は、夏休みの思い出を紹介するというものでした。4月からは真龍中学校で学ぶ6年生にとって、一足早い中学校の外国語授業を経験しました。これにより、俗に「中1ギャップ」と呼ばれる課題に対処できるよう、取り組みを進めています。

この取り組みを一例とし、真龍小学校と真龍中学校がさらに連携を深め、学習効果が高まる取り組みを進めていきます。

参観日が行われます

すでに案内されていますが、9月の参観日が行われます。各学年の実施日と時間は以下になります。今回は、懇談は行わず、授業参観のみとなります。

9月5日(月) 13時35分～14時20分 3～6年
8日(木) 13時35分～14時20分 1～2年

コロナ禍の中の開催となります。参加される際は、マスク着用の上、風邪症状がある場合は参加を控えるなどの感染予防対策へのご協力をお願いします。

パートナーティーチャー派遣事業

9月2日(金)に、鶴野支援学校の先生をお招きし、パートナーティーチャー派遣事業が行われます。この活動は、年間2回行われているものです。実際に子ども達の授業の様子を観察し、指導方法や指導内容について直接アドバイスをいただくものです。

学校では今回のように、外部の専門家を招き、子ども達へより充実した指導ができるよう、取り組みを進めています。

学習発表会に向けて

10月15日(土)は、学習発表会の保護者公開日となります。この日に向け、各学級ではどのような発表内容にするか構想を組み立てている所です。

実施日の10月15日の新型コロナの感染状況がどうなっているか予測はできませんが、練習時から本番まで、ステージ上やひな壇付近で扇風機を使い効果的に換気するなど、その対策を万全に行い、子ども達が安心して発表できるよう準備を進めています。

コロナ感染症高止まり

釧路管内のコロナ感染者数は、高止まりのまま推移しています。学校でも、子ども達の安全確保に向け、朝の健康観察を継続して行っている所です。現在の状況を鑑みると、どこで感染してもおかしくない状況となっています。各家庭でも、これまでと変わらず、油断せず、感染症対策を続け、この難局を乗り切ることを願っています。

夏休み作品展の様子から

夏休み作品展が行われました。自由研究や工作、書道など、どの作品も、夏休み中の子ども達の頑張りが伝わってくるものでした。



さて、夏休み中、学校へは大きなけがの連絡等もなく無事過ごせたようです。

ちょっとした工夫

現在体育では、全学年が鉄棒の授業に取り組んでいます。鉄棒は、その設置と撤去に時間を要するため、学校のカリキュラムを調整し、一斉に取り組むようにしています。

ちょっとした工夫ですが、授業時間をしっかりと確保できる取り組みの一つです。

真龍小学校便り おすすめ本(R4.9月号)

『にげて さがして』

作・絵 ヨシタケシンスケ(赤ちゃんとママ社)

真龍おはなし隊 上野佳奈子

あなたの足は何のためにありますか?いろいろな答えがあると思います。

では、困った時、あなたはどうしますか?

この『にげて さがして』の絵本には、子どもたちに向けた危険回避のヒントがわかりやすく丁寧に書かれています。子どもだけではなく、大人にも、この絵本から自分を守るスキルを身につけてほしい!と強く思える本です。

では、冒頭にある質問の答え合わせをしましょう。

実は、みなさんの答えすべてが正解になりますが、この絵本の中では、「逃げる」ためと、「危険から逃げている君を助けてくれる人を探す」ための足となっています。

「逃げる」は、恥ずかしくない。自分をいち早く、安全で安心できる人や場所にたどり着くための行動と言えます。

危険からはまずは「にげて」その後すぐに助けてくれる人を「さがして」ほしいと思います。

私はこの本がたくさんの人に広まり、たくさんの人の心が守られたらいいな、と思い紹介しました。ぜひ、読んで、考え、感じ取ってほしいです。



にげるために、さがすために、
きみのあしは、ついている。

生きづらい世の中
すべての人へ。
うたは、あなただけの
物語に続きます。

ヨシタケシンスケ

PTA 会費納入はお済ですか?

今年度のPTA会費の納入はお済でしょうか?期日は8月31日(水)までとなっています。今一度、会費納入袋をご確認してください。なお、未納の場合は、2000円を納入袋に入れていただき、学校まで提出していただきますようお願い致します。不明な点があれば学校まで連絡してください。